

News Release

2017年2月15日

株式会社 日立ハイテクノロジーズ

米プロメガ社との小型 CE シーケンサ分野における事業提携について

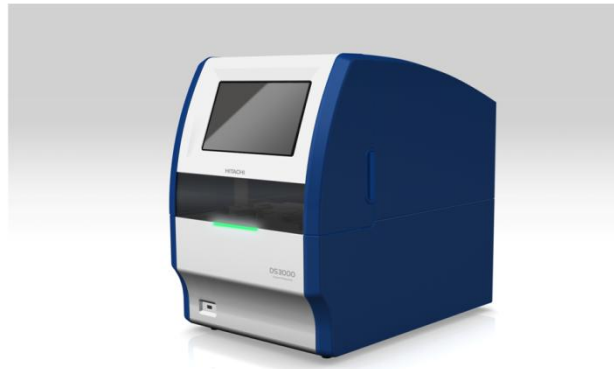
株式会社日立ハイテクノロジーズ（執行役社長：宮崎 正啓／以下、日立ハイテク）は、DNA^{*1}解析による個人識別用試薬におけるリーディングカンパニーである Promega Corporation（Chairman and CEO：William A. Linton／所在地：米国ウィスコンシン州マディソン市／以下、プロメガ社）との小型のキャピラリー電気泳動型(CE)^{*2}シーケンサ分野における事業提携についてお知らせします。

遺伝子解析研究の現場では、第一世代である CE シーケンサと、大量の遺伝子配列データ解析を可能とする超並列処理方式を利用した次世代シーケンサが活用されています。大量のデータ解析が可能な次世代シーケンサに対し、CE シーケンサは長年にわたる技術と経験の蓄積があり、次世代シーケンサで解析したデータ配列の確認や個人識別等に利用されるフラグメント解析を比較的安価で実現できることから、今後も堅調な需要が見込まれています。また、CE シーケンサを用いて、簡単な操作により、手軽に、短時間で遺伝子解析を行いたいというニーズも引き続き拡大されると想定しています。

プロメガ社は、ライフサイエンス分野に革新的なソリューションやテクニカルサポートを提供しています。同社は 1978 年に設立され、世界中の研究者に同社の 3,500 種類を超える製品を供給しており、ゲノミクス、プロテオミクス、細胞分析、分子診断、個人識別の分野における知識向上に貢献しています。また、25 年以上にわたり DNA 解析による個人識別用試薬を提供してきました。

日立ハイテクでは、研究現場における簡単かつ手軽な遺伝子解析のニーズに応えるために、日立ハイテクの装置開発とプロメガ社の試薬開発という両社の強みを生かし、全世界において、少量サンプルで DNA を安価に短時間で解析出来る小型の CE シーケンサ事業分野にフォーカスしたコラボレーションを展開してまいります。両社は 2017 年度中に、研究用途として最初のコラボレーション製品の販売開始をめざします。

日立ハイテクは、本事業提携により、最注力分野と位置付けておりますバイオ・ヘルスケアにおいて、DNA シーケンサ事業のさらなる事業拡大をめざしてまいります。今後とも、ハイテク・ソリューション事業におけるグローバルトップをめざすとともに、最先端・最前線の事業創造企業としてお客様視点に立ち、顧客および市場のニーズにスピーディーに対応してまいります。



小型 CE シーケンサの完成イメージ

*1 DNA(Deoxyribonucleic acid) : デオキシリボ核酸

*2 CE(Capillary Electrophoresis) : キャピラリー電気泳動

■プロメガ社の概要

(1)名称	Promega Corporation
(2)所在地	アメリカ合衆国 ウィスコンシン州 マディソン市
(3)代表者	Chairman and CEO : William A. Linton
(4)事業内容	ゲノミクス、プロテオミクス、細胞分析、分子診断、個人識別等に関する製品の開発、製造、販売
(5)設立年	1978 年
(6)売上高	約 4 百万米ドル (2016 年見通し)

■お問い合わせ先

科学・医用システム事業統括本部

バイオ分析システム営業本部 バイオシステム一部

担当：新井 TEL：050-3139-4253

E-mail: hhtgene.aj@hitachi-hightech.com

■報道機関お問い合わせ先

CSR 本部 CSR・コーポレートコミュニケーション部

担当：佐野、松本 TEL：03-3504-3933